

教 員 個 人 調 書

(記載例)

履 歴 書					
フリガナ	サッポロ ハナコ	性 別	女	生年月日(年齢)	〇〇年〇〇月〇〇日(満〇〇歳)
氏 名	札幌花子	現 住 所	(住所)		
国 籍	※外国人のみ	(電話)			
月額基本給	※記入しないでください千円				
学 歴					
年 月	事 項				
〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月	〇〇〇〇看護学校卒業 または 〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業 〇〇学士 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程入学 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修士課程修了 〇〇学修士(第〇〇〇号) 学位論文題目: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				
〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士課程入学 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士課程単位修得満期退学 〇〇学博士(第〇〇号)の学位を授与(〇〇大学) 学位論文題目: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				
職 歴					
年 月	事 項				
〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月	〇〇病院看護師(〇〇年〇月まで) 〇〇大学付属病院看護部長(〇〇年〇月まで) 無職(〇〇年〇月まで) 〇〇大学〇〇学部講師(〇〇年〇月まで) 〇〇大学〇〇学部助教授昇任(〇〇学、〇〇学担当)(〇〇年〇月まで) 〇〇大学〇〇学部教授昇任(〇〇学、〇〇学担当)(〇〇年〇月まで) 大学設置審議会において、〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇専攻博士課程教授 (〇〇学、〇〇学特論、〇〇学演習担当)㊦判定受ける 〇〇大学大学院〇〇学研究科担当(〇〇学演習担当)(現在に至る) ※職歴は年月の空白なく記載してください。				
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等					
現在所属している学会	〇〇学会、〇▽学会、▽▽学会				
年 月	事 項				
〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月 〇〇年〇〇月	〇〇学会正会員(～現在に至る) 文部科学省〇〇審議会委員(～〇〇年〇月) 〇〇学会理事(～現在に至る)				
賞 罰					
年 月	事 項				
〇〇年〇〇月	日本〇〇学会賞受賞				
現 在 の 職 務 の 状 況					
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称		勤 務 状 況	
〇〇大学	教 授	〇〇学部〇〇学科		〇〇概論、〇〇演習、〇〇特別講義	
開 設 後 の 職 務 の 状 況					
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称		勤 務 状 況	
※記入しないでください					
上記のとおり相違ありません。					
年 月 日					
氏 名 印					

重 要（必ずお読みください。）

1. 学歴、職歴、学会及び社会における活動等に誤りがないかどうか、確認してください。特に、学歴、職歴等に誤りがあると、職位の判定に影響を及ぼす場合がございます。
2. 学歴の欄は、卒業年月順に、資格を取得した学校または大学の卒業から記載してください。
3. 学歴の欄で大学院修士課程修了者は、〇〇〇学修士（第〇〇号）または修士（〇〇〇学）（第〇〇号）と記載し、学位論文題目名を記載してください。
4. 学歴の欄で大学院博士課程修了者または学位取得者は、〇〇〇学博士（第〇〇号）の学位を授与（〇〇大学）または博士（〇〇〇学）（第〇〇号）の学位を授与（〇〇大学）と記載してください。さらに、学位論文題目名を記載してください。なお、平成14年度の取得から〇〇〇学修士・博士から博士・修士（〇〇〇学）と表記が変更となっています。ご確認ください。
5. 職歴の欄は、年月の空白がなく、必ず連続してつながるように記載してください。無職の場合、大学進学の場合も必ず記載してください。
6. 職歴の欄でその職にいつ就いて、いつまで就いていたのかを明確に記載してください。昇格等の場合も、いつ昇格してその職位にいつまで就いていたのかを明確に記載してください。
7. 大学、短期大学又は専門学校で教員として勤務されていた方は、必ず担当授業科目を記載してください。
8. 大学、大学院で大学設置審議会の審査を受けて㊦判定がでている場合は、いつ受けて、何の担当授業科目が㊦になったのか、記載してください。
9. 大学、短期大学での専任教員の経験がなく、非常勤講師として大学、短期大学に授業に行っていた場合は、職歴の欄に記載してください。担当授業科目も必ず記載してください。
10. 現在の職務の状況の欄
 - （1）勤務先が大学・短期大学でない場合は、

例えば、勤務先 → 〇〇大学附属病院
職 名 → 看護部長
学部等又は所属部局名の名称 → 看護部
勤務状況 → 看護管理、新任教育担当等と記載してください。
 - （2）勤務先が大学・短期大学ではなく大学・短期大学の非常勤講師を兼任している場合は、上記（1）の他に、非常勤講師での勤務先、職名、学部等又は所属部局名の名称、勤務状況（担当科目）を記載してください。

教 育 研 究 業 績 書 (記載例)		
		年 月 日
		氏 名 ⑧
研 究 分 野	研究内容のキーワード	
科学研究費補助金の小区分レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記載してください。	研究内容を表すキーワードを5つ以内で記載してください。	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取組、講義内容の Web 上での公開等を科目ごとに記載してください。
(1) ○○○○実習	○○年○月から現在に至る	(例) ○○○○を利用した○○○○○○を展開し、○○○○○○○○を Web 上に公開している。
2 作成した教科書、教材		作成した教科書、教材等で、講義等で使用しているものを記載してください。
(1) ○○○○実習のDVD	○○年○月○日	作成した教科書、教材等の概要(内容)を200字程度(150字～250字)で記載してください。作成した教科書、教材は、研究業績等に関する事項の「著書、学術論文」との重複記載が可能です。その場合、「著書、学術論文」の欄には、「(再掲)」と表示してください。 (例) ○○・・・・・・・・・・(概要を200字程度記載)
3 教育上の能力に関する大学等の評価		- 各大学での自己点検評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実(その事由と評価内容) - 採用決定の際等における教育上の能力に関する評価 - 学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの - 学外の評価機関等が行った評価 - 上記以外で、学長、学部長、諸機関等が行った評価(客観性をもったもの)等を記載してください。
(1) 自己点検、自己評価報告書	○○年○月	(例) ○○大学の自己点検、自己評価報告書において以下のとおり報告した。 ①○○○○演習 受講生○○人に対し授業評価を行い、●●●という回答が△%、□□という回答が△%で・・・・・・・・・・という評価であった。 ②△△△△論 上記①と同様の記載方法
(2) ○○委員会の評価	○○年○月	○○大学の授業改善委員会において以下のとおりの評価を受けた ①授業改善委員が○○○演習の授業を見学し、評価を行った結果・・・・・・・・・・の評価となった。 ②上記①と同様の記載方法 最後に全体を通じて・・・・・・・・・・の評価となった。
4 実務の経験を有する者についての特記事項		- 大学から受け入れた実習生の指導歴を受け入れ順にどの大学を、どの期間で、何名受け入れたか。また、どのような指導を行ったかを簡潔に記載してください。(看護実習、福祉実習、企業実習等) - 企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要(いつ、どこで、対象者はだれで、何名の受講

(1) 看護〇〇実習の受入	〇〇年〇月	生で、どのような内容の講義等を)を簡潔に記載してください。 ・その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く簡潔に記載すること(いつ、どこで、対象者はだれで、何名の受講生で、どのような内容の講義等を行ったか、または、どのくらいの期間、どこか機関の助成を受け、どこに、何の留学・調査研究目的で行ったか等(例) 〇〇大学の〇年生●●名を△△～△△の期間、受け入れを行い、・・・・・・の指導を行った
(2) 公開講座	〇〇年〇月	上記と同様の記載方法 〇〇大学の公開講座が、〇月～〇月の間、△△△△をテーマに5講座実施され、2講座目を担当した。講座は、受講生〇〇名を対象に△△△△のテーマで・・・・・・に内容で講義を実施した。
5 その他		・大学教育改善に関する団体等での活動の概要 ・教育実績に対する受賞歴 ・国家試験の問題作成等を記載してください
職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格、免許	取得年月日を記載してください。 (例) 〇〇年〇月〇日 〇〇年〇月〇日	資格、免許(教職免許を含む)の種類・発行号数を記載してください。 (例) 看護師免許(第〇〇号) 保健師免許(第〇〇号)
2 特許等		特許があれば記載してください。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		・大学との共同研究 ・企業提携・研究開発等の担当実績 ・各種審議会・行政委員会等の委員 ・行政機関における調査官等 ・研究会、ワークショップ等での報告や症例発表 ・調査研究、留学、海外事情等調査
4 その他		・職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等 ・論文の引用実績等
研 究 業 績 等 に 関 する 事 項		
著書、学術論文等の名称	単 著 共 著 の 別	発行又は 発表の年月 発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の 名称 概 要
(著 書) 1. 〇〇〇概論 ※査読付きの場合 「(査読付)」と明記	共著	(古い順から) 〇〇年〇月 〇〇出版 書の内容を記載する(200字程度) ・・・・・・ 英文については、日本語訳にしてください。 ・・・・・・ (本人担当部分)pp100～150 共著者〇〇、〇〇、〇〇、〇〇 ※本人の名前に下線を引く。 ※筆頭論文である場合はその旨を明記してください。 著書の内容を記載する(200字程度)

2. △△△△論	単著	〇〇年〇月	〇〇文庫	 英文については、日本語訳にしてください。
(学術論文) 紀要、学会誌等で発表した論文を記載してください。 ※査読付きの場合 「(査読付)」と明記する	共著 または 単著	(古い順から) 〇〇年〇月	〇〇大学紀要第〇巻 pp100～115	以下、上記に準じて作成してください。 ※学位論文である場合は、その旨を明記してください。
(その他) 学会での発表・報告、発表・報告の抄録集、翻訳等の小見出しをつけて記載してください。 (学会発表) (翻訳)	共同 または 単独 共著 または 単著	(古い順から) 〇〇年〇月 〇〇年〇月	第〇〇回〇〇学会 (名古屋市)	以下、著書、学術論文と同様の記載方法
(文部科学省科学研究費補助金) 基盤研究C 〇〇〇〇〇〇〇〇〇		〇〇年～ 〇〇年		〇〇,〇〇〇,〇〇〇円(研究代表者)

重 要（必ずお読みください。）

1. この書類は、担当授業科目に関する教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項、学术论文等について、作成するものです。先生方が担当する授業科目の内容と、概要が一致しているかどうか確認してください。できれば、一致するように概要を記載してください。担当の授業科目の内容は別添のとおりです。
2. 最近の教員審査では、著書、学术论文等の「研究業績等に関する事項」の審査を行うことは当然ですが、「教育上の能力に関する事項」、「職務上の実績に関する事項」が重要視されています。特に、大学・短期大学等の教育経験が短期間の教員及び教育経験がない教員並びに研究業績が少ない教員の皆様の審査は、「教育上の能力に関する事項」、「職務上の実績に関する事項」が重要となりますので、できるかぎり詳細に記載してください。必要ないかどうかは自分で判断せず、関係のありそうな事項はすべて記載してください。
3. 著書・学术论文等が共著の場合は、概要（内容）を200字程度（150字～250字）記載した後に、（本人担当部分）Pp ○○～○○を記載し、次の行に共著者：○○、○○、○○を記載のうえ、本人の名前の下に下線を引いてください。また、共同研究のため、本人担当部分の抽出が不可能な場合は、（共同研究につき本人担当部分抽出不可）と記載してください。
4. 著書で1冊の本を複数で執筆した場合は、当該部分は単著であっても共著として扱ってください。
5. その他の学会発表で口頭発表の場合は、単独か共同か明確にしてください。共同の場合は、概要の欄に、学术论文等と同様に概要200字の後に、本人担当部分、共同発表者を記載してください。
6. 学术论文等で未発表のものは記載できません。掲載予定では記載できませんので、注意してください。